

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イオンスタイル広島府中

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡府中町大須2丁目1-1

(3) 業種

5611:百貨店、総合スーパー

2 計画の期間

本計画の期間は、令和2（2020）年度を基準年度とし、令和3度から令和5年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	令和2年度 (2020)	令和5年度 (2023)年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	3,301	3,203	2,929	3,020	2,031		
		3.0	11.3	8.5	38.5	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂							
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン							
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素							
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス							
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	3,301	3,203	2,929	3,020	2,031		
		3.0	11.3	8.5	38.5	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	2023年11月より温室効果ガス削減の為、買電を再エネ100%のサミットエナジー（株）に切替えて温室効果ガス排出量は、大幅に改善される。						

※ 削減率(c) = $((a) - (b)) / (a) \times 100$ 削減量の対基準年度比(e) = $((a) - (d)) / (a) \times 100$

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー消費原 単位（原油換算 kl）		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	再生可能エネルギー100%運営へ切替え	温室効果ガスは、再エネ100%の為、温室効果ガス発生は、電気に関しては、無くなる。	2023年度11月より「サミットエナジー」に切替える。
2	LED照明を省エネタイプに入れ替え実施	省エネ効果3割削減	LED照明が古くなり照度低下も目立つ為新しく省エネタイプに入替える。
3	冷凍ケース、空調機器の入替	既存比較で2～3割削減	冷凍ケースをリーチインタイプに変更して使用量削減を削減、活性化に合わせ空調機器も省エネタイプに切替え。
4	省エネ運営管理の徹底	省エネチェックリストの活用により1割を目標に使用量削減を目指す。	冷暖房の温度管理の徹底、ナイトカーテン利用の徹底。無駄な照明の消灯、冷ケースの温度管理の見直し。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	現状、中四国カンパニーでは取組んでおりません。	
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量削減	昨対4%の削減を目標とする。	・無駄な照明の消灯 ・冷ケースのナイトカバー使用の徹底 ・省エネマニュアルの厳守 ・LED照明を省エネタイプに切替え。
2	使い捨てプラスチックの削減	レジ袋辞退率90%目標	・マイバック、マイバスケット販売強化 ・レジでの声掛け実施
3	ペットボトルのリサイクル推進	店頭リサイクル回収量昨対3%UP	・ペットボトル回収BOXの設置場所の増加 ・回収BOXの設置場所を目につき易い場所に変更

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。